

アキアカネが舞い、ススキが風に揺れる時季を迎えました。初秋の趣が感じられる美術館の周りは、清々しい雰囲気に包まれています。

展覧会のお知らせ

常設展示

「小川原脩 自伝風な展覧会—チベット再訪」開催中(10月6日まで)
小川原脩の70年に及ぶ画業の中で、精神的な転機となり画風も大きく変容したチベットへの旅行。人びとがそこで生きている様子、動物たちもまた人間とともにそこにある様子を柔らかな色彩と単純化したフォルムで表現した作品観を展示しております。

企画展示

「第55回麓彩会展—未来への進化と継続—」

7月に長逝された谷ロー芳さんの最後の作品「森は生きている(II)」をはじめ、15名の作家たちのこれまで重ねられた画業の一端をうかがうことができる質の高い作品が出品されました。ご観覧ください。10月6日(日)まで開催しております。

一予告一

7月に亡くなられた麓彩会展の中核的メンバーであり、全道展の重鎮として北海道の芸術活動に貢献してきた谷ロー芳さんの展覧会を10月10日から開催します。札幌洋画研究所時代の作品からフクロウをモチーフとした作品まで、谷ロー芳さんの画業をたどる展覧会ですのでご期待下さい。

一お知らせ一

秋の企画展「造形展—風の中の展覧会X」は出品者が揃わないため中止となりました。初秋から晩秋への時季、美術館の情景とともに多彩な技法の造形作品展をお楽しみにされておられた方がたにお詫び申し上げます。

ミュージアムコンサートのお知らせ

「音楽とワインの夕べ」

- 日時／平成25年9月7日(土) 18時から
- 場所／小川原脩記念美術館 倶知安町北6条東7丁目1
- 音楽／シャンソン歌手 夏 タ子さん
- 料金／一般1,300円 友の会会員1,000円



ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎ 21-4141 FAX 21-4142

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp

倶知安風土館

☎ 22-6631 FAX 22-6632

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/huudokan/huudokan.jsp

開館時間は9時～17時

(入館は16時30分)

9月の休館日 3, 10, 17, 24日

フリーマーケット開催

■日時／9月21日(土) 10時～14時

※雨天の場合は中止

■場所／倶知安風土館側前庭(アプローチ)

木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

木田金次郎生誕120年

木田金次郎「第一回個展の頃」

11月4日(月・祝)まで

藤倉英幸展「しりべしの風景たち」

9月23日(月・祝)まで

美術館講座第3回「藤倉作品と親しむ」

9月14日(土) 13時から

西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

夏から秋の展覧会

西村計雄「太陽と月と」

10月14日(月・祝)まで

山岸正巳展「おだやかな陽光」

10月14日(月・祝)まで

トライアート「太陽の観察」に挑戦!

9月7日(土) 10時～12時

海と山と田園と —ミュージアムロード情報—

町長室から

9月に入り、朝晩はめっきり涼しくなる季節となりました。

くつつちゃんの夏の一大イベントである「くつつちゃんじゃが祭り」は、2日間とも好天に恵まれ、たくさんの方のご協力により、盛大に終了することができました。参加された方・催しをご覧になった方にはこの夏の思い出として心に残ったことと思います。お忙しい中、お手伝いいただいた関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

さて、これからは本格的な収穫期となります。今年は異常気象による生育が心配されておりましたが、順調にこの時期を迎えました。農家の皆さんにとって、実りの秋であることをお祈りします。

子どもたちは、夏休みが終わり、学校生活が始まりました。今後も交通事故防止に向け、地域・家庭・ドライバーの皆さんのご協力をお願いいたします。

また、今月末より町内10ヶ所の会場でもちづくり懇談会が行われます。住民の皆さんの意見をいただく貴重な機会となりますので、ご都合のよい会場へお越しください。よろしくお願いたします。

福島世二



感動一点 の場

『巡礼』（デッサン）

1982年頃 小川原 脩 画

2度目のチベット旅行は、小川原にとって不満が残るものだった。チベットを後にする前夜の日記には、今回のチベット旅行は内容が薄く、何の収穫もなかったことがなぐり書きされていた。それでも、小川原はラサの情景を的確にとらえていた。「ジョカン寺の前では五体投地礼大ぜいいる。パルコールでは五体投地礼を続けている巡礼。何と巡礼家族の多いことか。山羊がいる、山羊は山羊で勝手に動く。犬がいる、牛がいる、彼らは人間に互しているのだ」と。このデッサンは祈りをささげる人物の左に巡礼家族を描き、その周りに動物たちを配した構図である。小川原流の曼荼羅を想定した作品「巡礼家族」の原型だろうか。



ふる探訪 さと

366回

あの時代 この時代

その50『停車場通りの情景』6 昭和45年頃

7月号から今月号まで3回続けてお祭り風景を掲載しました。前にも記載しましたが、停車場通りが祭り期間中に歩行者天国として開放されたのは、第3回羊蹄火まつりからでした。この時は山田せともの店（現山田園）から越前屋までの一角でした。お祭り広場として停車場通り全線が歩行者に開放されたのは第11回産業観光祭りでした。その後現在までこの状態は変わっていません。買い物や荷降ろし、そしてバスやタクシーが頻繁に行き交う交通量の多い停車場通りを歩行者に開放することはとても厳しいものがあったようです。お祭りを支えてくださる商店街や飲食店、行政、警察など多くの裏方たちが一緒に汗を流したからこそ数日間の歩行者天国が実現したのでしょう。今年は51回目のじゃが祭りですが、じゃが祭りに名称が変わったのは昭和51年からでした。じゃが祭りのルーツは産業観光祭りでした。NHK小樽放送局が全面的にバックアップして開催されたそうです。その後羊蹄火まつりに名称改称、そして再び産業観光祭りに。じゃが祭りは1回だけポテフェスティバルに変わりましたが、行事内容の目新しさはありませんでした。祭りが終わり収穫の秋を迎える準備が始まりました。停車場通りが秋の装いになる時季です。



絵本館 10 ～ 18 時 (水曜休館)



今月のイチ押し
絵本!

『糸子の体重計』
いとう みく
小学5年生の糸子はちよつと太めの女の子。クラスメートにダイエットは無理!!と言われて、ついに本気になった。思春期の入り口に差し掛かった子どもたちの悩みや思いが軽快に書かれています。是非親子で読んでみてください。

★9月24日(火)は図書整理のためお休みです。

今月のこびとの森
日時/9月28日(土) 11時～
大型絵本 おぼけびょうきになる
OHP ぐりとぐら お知らせ

今月の特集
『虫のお話』
登場人物の虫たちが出てくるお話、虫の生態がよくわかるお話、写真が素晴らしい本などを集めましたので、虫の世界を楽しんでください。

公民館 3 階図書室

10 ～ 18 時 (月曜休館)



死神の浮力
たぶんねこ

伊坂幸太郎
畠中 恵



今月の新書
世界地図の下書き

朝井リョウ

★9月26日(木)は図書整理のためお休みです。



無垢の領域
風に立つライオン
ファミレス
月神
鸚鵡楼の惨劇
再会
千両はん

桜木 柴乃
さだまさし
重松 清
葉室 麟
真梨 幸子
諸田 玲子
山本 一力

～いつまでもおいしく食べられますように～

トロトロ豆乳茶碗蒸し

1 人分 エネルギー 115Kcal

塩分 1.4g

食べやすくするポイントとして、1口大に切る。鶏肉などは薄いそぎ切りにする、野菜の芯などは取り除くとかみやすくなります。また汁を多めにしたり、とろみをつけたりすることで、飲み込みやすくなります。



＊材料 (2 人分)

卵……………1個	無調整豆乳……1 カップ
顆粒だしの素…小さじ 1/4	塩……………1/4 弱
みつば…………1 ～ 2 本	かにかまぼこ……4 本

＊作りかた

- ①ボウルに卵を割りほぐし、無調整豆乳、顆粒だしの素、塩を混ぜ、ザルでこしてなめらかにする。
- ②耐熱性の器 2 つに注ぎ分ける。かにかまぼこは 4 等分に切り、さらにほぐして、飾り用を少し残して器に入れる。
- ③フライパンに器を並べ、あいているところに、器の高さの半分くらいまで熱湯を注ぎ入れてふたをし、強火で 1 分蒸し、弱火にして 6 ～ 7 分蒸す。
- ④みつばは根元を切り、2cm 長さに切り、残りのかまぼこと一緒にのせる。

涼しい日が増えてきて、夏もそろそろ終わりですね。9 月 16 日は敬老の日です。年齢を重ねるとかむ力や飲み込む力が少しずつ弱くなっていきます。今まで食べていたものが食べられない、おいしく感じられないとなると食欲低下にもつながり、栄養が不足してしまうことも予想されます。切り方などの下ごしらえを工夫したり、食べやすくする調理法を実践すれば、食べられるものも増えて食事が楽しいひとときになると思います。年齢を重ねてもおいしく食べることができたら幸せですね。

栄養士 岩井麻未